

# 香取市地域公共交通協議会 (第53回協議会資料)

## 目 次

### 議 事

- (1) 令和5年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について
- (2) 自家用福祉旅客運送の有効期間更新について
- (3) 香取市地域公共交通計画(素案)について

### 報 告

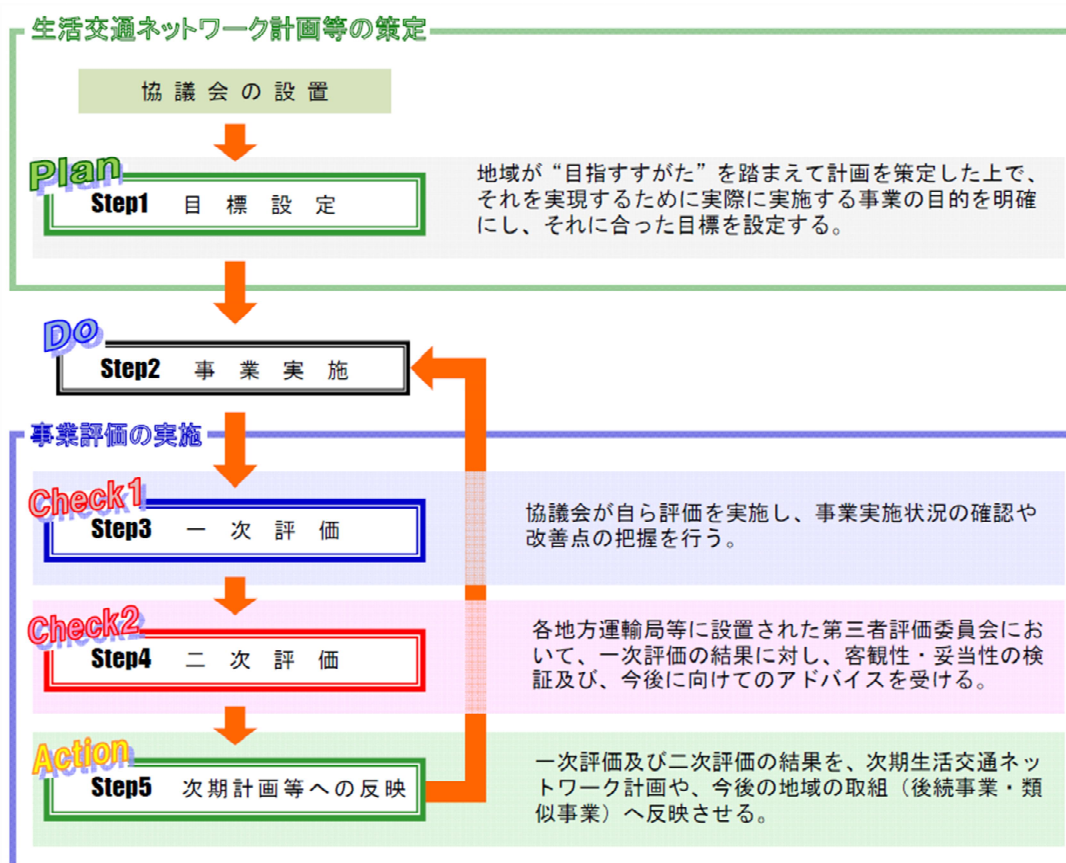
- (1) 香取市公共交通再編案について
- (2) 運賃協議の取り扱いについて
- (3) JR鹿島線について
- (4) その他

## 議事（１）令和５年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価

地域公共交通確保維持改善事業は、地域公共交通の確保・維持を図るとともに、地域公共交通の改善に向けた取組を国が支援する制度であるが、これらの取組は一過性のものではなく、継続的な実施が求められている。地域が実施した事業の内容を振り返って、目標の達成状況などを評価・分析し、次の取組に反映していくという継続的な取組が重要なことから、国土交通省では、それらの取組を「事業評価」として制度化している。

当市では、令和５年度地域内フィーダー系統確保維持計画（令和４年６月策定）に基づき、香取市循環バス（小見川ルート）、香取市乗合タクシー、香取市循環バス（横断ルート）で地域内フィーダー系統確保維持国庫補助金を活用し運行しており、今回事業評価を実施し、令和６年１月末までに関東運輸局に報告する。

### ■事業評価の流れ



### ■評価項目

地域公共交通確保維持改善事業の事業評価については、「地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価実施細目」に定められた様式に基づいて評価を行う。

### ■資料

別添 1 参照

## ■地域公共交通確保維持改善事業の事業評価

○対象年度：令和５年度「事業年度：令和４年１０月から令和５年９月」

○対象事業：地域内フィーダー系統確保維持事業

○対象路線：

- ・香取市循環バス（小見川ルート）
- ・香取市乗合タクシー
- ・香取市循環バス（横断ルート）

## ■香取市循環バス（小見川ルート）

○概要

事業者名：千葉交通株式会社  
 運行系統：高萩経由（30.8 km）、城山公園経由（5.1 km）  
 計 35.9 km  
 運行日：月曜～金曜  
 （土・日曜日、祝日、振替休日、年末年始運休）  
 運行時間帯：6時30分～18時35分  
 運行本数：9便／日  
 運行車両：日野ポンチョ（乗車定員 33 名） 1 台  
 運賃：大人 300 円、中高生 100 円、小学生以下無料  
 障害者手帳所持者 100 円、障害者手帳所持者（中高生）無料  
 割引制度：回数乗車券 12 枚綴り 1,000 円  
 1 日フリー乗車券大人 600 円、中高生 200 円



○目標と達成状況

	目標	達成状況
【目標１】年間利用者数	12,550 人	【達成】14,580 人
【目標２】収支率	14.6%以上	【達成】15.5%

○利用状況

資料別紙 1、2 参照

○考察

利用者数は 14,580 人であり、前年度実績 12,728 人から 1,852 人(14.5%)増加し、目標値 12,550 人を 2,030 人越え、目標を達成した。

主な利用者が高校生であり、令和４年１０月の府馬線の減便に伴い、小見川高校の利用者が増加したためである。

収支率は 15.5%であり、前年度実績 14.1%から 1.4%改善され、目標値 14.6%以上を達成した。

令和３年４月からの運賃改定及び利用者の増加により、運賃収入が増加したことが達成の要因と推察される。

生活路線である香取市循環バス（小見川ルート）が運行され、**高校生や高齢者等の日常生活に必要不可欠な移動手段が確保・維持**されている。

## ■香取市乗合タクシー

### ○概要

事業者名：京成タクシー成田株式会社  
 運行区域：小見川中央・東・南地区  
 運行日：月曜～金曜  
 （土・日曜日、祝日、年末年始運休）  
 運行時間帯：8時～17時  
 運行本数：9便／日  
 運行車両：トヨタコンフォート（乗車定員5名）2台  
 運賃：大人600円、中高生300円、小学生以下無料  
 障害者手帳所持者300円、介助者300円  
 割引制度：回数乗車券1冊3,000円（300円×12枚）



### ○目標と達成状況

	目標	達成状況
【目標1】年間利用者数	6,500人	【達成】6,923人
【目標2】収支率	16.6%以上	【達成】19.0%

### ○利用状況

資料別紙3、4参照

### ○考察

利用者は6,923人であり、前年度実績6,777人から146人(2.1%)増加し、目標値6,500人を423人越え、目標を達成した。

主な利用者属性が高齢者であるため、制度周知を重視した結果、一定程度の効果が表れたと考えられる。

収支率は19.0%であり、前年度実績20.0%を1.0%下回ったが、目標値16.6%以上を達成した。

令和3年4月からの運賃改定及び利用者の増加により、運賃収入が増加したこと効果があったと推察される。

小見川地区に存在する交通不便地域の一部が解消され、高齢者等の日常生活に必要不可欠な移動手段が確保・維持された。

## ■香取市循環バス（横断ルート）

### ○概要

事業者名：千葉交通株式会社  
 運行系統：往路（30.2 km）、復路（30.2 km）  
 運行日：月曜～金曜  
 （土・日曜日、祝日、振替休日、年末年始運休）  
 運行時間帯：6時15分～18時29分  
 運行本数：8便／日  
 運行車両：日野リエッセ（乗車定員37名） 1台  
 運賃：大人300円、中高生100円、小学生以下無料  
 障害者手帳所持者100円、障害者手帳所持者（中高生）無料  
 割引制度：回数乗車券12枚綴り1,000円  
 1日フリー乗車券大人600円、中高生200円



### ○目標と達成状況

	目標	達成状況
【目標1】年間利用者数	2,900人	【達成】3,361人
【目標2】収支率	5.6%以上	【達成】5.6%

### ○利用状況

資料別紙4、5参照

### ○考察

利用者数は3,361人であり、前年度実績3,000人から361人(12%)増加し、目標値2,900人を461人越え、目標を達成した。

令和3年10月の実証運行開始以降、周知が進み、利用者の定着が見られる。

収支率は5.6%であり、前年度実績5.9%を0.3%下回ったが、目標値5.6%以上を達成した。

運行経費の増加に対し、収入の増加が少なかったことが収支率が前年を下回った要因である。

生活路線である香取市循環バス（横断ルート）スが運行され、高校生や高齢者等の日常生活に必要不可欠な移動手段が確保・維持されている。

## 議事（２）自家用福祉旅客運送の有効期間更新について

自家用有償旅客運送（福祉有償運送）を行う運送者は、当該地域を所管する運輸支局等へ、道路運送法に基づく登録が必要となる。また、新規登録及び更新登録にあたっては、「地域における関係者の合意」が必要であり、香取市では香取市地域公共交通協議会が協議の場となっている。さらに登録にあたっては、地域における関係者で合意を得たうえで、協議を行った会議体で発行する「協議が調ったことを証する書類」が必要となる。

自家用有償旅客運送（福祉有償運送）の登録有効期間は、２年（重大事故を引き起こしていない等の一定要件を満たす場合の更新登録の有効期間は３年）となっている。

香取市では、「社会福祉法人福祉楽団」が自家用有償旅客運送（福祉有償運送）を実施しており、登録有効期間が満了するため、更新登録について協議する。

### ■自家用福祉旅客運送の有効期間更新

#### ○対象運送者

社会福祉法人福祉楽団（香取市岩部 869-60）

#### ○現在の登録有効期間

令和６年４月８日

#### ○更新登録の内容

別添２参照

※資料の「個人情報が含まれる部分」については、マスキングしてあります。

#### ○協議事項

運送者の事業内容等について確認し、「地域公共交通協議会において協議が調ったことを証する書類」を作成し、運送者へ発行したい。

### 議事（３）香取市地域公共交通計画（素案）について

本年度、香取市では香取市地域公共交通計画（計画期間：令和６年度～令和１０年度）の策定に向け、市民グループヒアリングや事業者ヒアリング等を実施し、令和６年度以降に実施する事業について検討を進めている。計画書の素案についてご報告するとともに内容について協議する。

※「香取市地域公共交通計画（素案）」に係る内容については、別添３をご参照ください。

#### ■今後の予定

##### ○素案の協議

- ・ 香取市地域公共交通協議会
- ・ 令和６年１月２９日（本日）

##### ○パブリックコメント

- ・ 広報かとり（２月号）、香取市ホームページでの周知
- ・ 令和６年２月８日から２月２９日まで

##### ○最終案の協議

- ・ 香取市地域公共交通協議会
- ・ 令和６年３月１８日

## 報告（１）香取市公共交通再編案について

香取市では、今年度作成している香取市地域公共交通計画に基づき、令和６年度以降に市内の公共交通の再編を予定している。

現在、検討している再編案について報告する。

※資料については、当日配布予定です。



## 報告（２）運賃協議の取り扱いについて

令和５年１０月施行された運賃協議の改正について、香取市としての協議方法について共有する。

### ■運賃協議の取り扱いについて

運賃等については、これまで道路運送法第９条第４項及び施行規則第９条の２に基づき、運賃の決定をしてきた。

令和５年１０月１日以降、①公聴会の開催等により住民等の意見を反映させることに必要な措置を講じなければならなくなり、また、②当該路線等をその区域に含む市町村または県、当該運賃を定めようとする事業者、当該路線等を管轄する地方運輸局長、関係住民の意見を代表する者の４者で構成する協議会等で運賃等について協議が調ったときは国土交通大臣に届け出ることによって当該運賃等を定めることができることとなっている。

#### ① 公聴会の開催等について

この公聴会の開催等については、国から、法令上の例示に過ぎず、住民、利用者、利害関係者へ広く意見を求める手法であればパブリックコメント、市政広報紙、地域住民へのアンケート調査、事業者や事業者団体へのヒアリング、ホームページでの意見募集の掲載等でも可能な旨が示されている。

当市としては、掲載締め切りに制約等がある広報紙ではなく、より制約等の少ないホームページにおいて意見募集ページを掲載し、アンケート調査を実施して意見聴取したいと考えている。

#### ② 分科会の活用について

４者で構成する協議会等については、香取市地域公共交通協議会規約第８条及び第８条第２項に基づく分科会を運賃分科会として置き、これをもってあてることとしたい。ホームページにおけるアンケート調査結果をもとに協議していただくことを想定している。また、運賃分科会を対面で行うことは会議の性質上及び運用上、多大な時間がかかることが想定されるため、書面開催とする。

#### ③ 今後の予定

今年度の最後の協議会が令和６年３月１８日に開催されるため、同日以降にホームページ上でアンケート調査を実施し、回答期間を一カ月程度置く。運行事業者が決定した段階で運賃分科会を書面で開催し、協議後に協議が調っていることの証明書を付して７月末までに認可申請を行う。

### 報告（３）ＪＲ鹿島線について

ＪＲが毎年公表している利用の少ない路線に鹿島線が該当していることに對し、鹿島線沿線市（鹿嶋市、潮来市、香取市）及び千葉県、茨城県の公共交通担当者で集まり、初めて意見交換を行った。

#### ■意見交換の場の継続について

各市ともに鹿島線はまちづくりに重要な公共交通であり、今後は連携して利用促進等を検討していくことの認識で一致し、各市でそれぞれニーズの把握を行い、それを踏まえて意見交換の場を継続して持つこととなった。